

# 西海ブロック水産業情報

NO. 87 (平成26年10月～12月)

その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>○ケンサキイカの漁獲量が激減 (代表2地区の本年の漁獲量は16トンであり、過去5年平均の23%)。</p>		<p>○玄海 【情報発信】 ・携帯電話による沿岸域(3地点)の水温・塩分情報の発信 ・漁海況情報、漁場環境情報、赤潮、貝毒PL情報等をHP及びFAXで発信 【赤潮情報】 ・10月：伊万里湾においてHeterocapsa circularisquamaの赤潮が発生 【貝毒情報】 ・12月：仮屋湾において、養殖マガキから国の規制値を超える麻痺性貝毒が検出されたため、採捕・出荷の自主規制措置を実施</p>	<p>利用加工関係 ・水産物供給体制づくりのための技術育成事業：加工業者の製品開発や改良を支援 ・主要魚種の価値を高める加工技術の開発：干物や冷凍商材の品質向上試験、脂肪含量の簡易推定方法を検討 ・海外輸出に向けた活魚輸送技術の開発：輸送装置の改良、陸上飼育試験 ・養殖魚の血合肉褐変防止技術：ビタミン類が血合肉の褐変に及ぼす影響を解析 ・環境変化に対応した藻類培養基盤技術開発：ウニ生殖巣のアミノ酸測定</p>	

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
		<p>10月～12月の赤潮発生状況は、以下の2件であり、漁業被害はなかった。 ミリオネクターブルラ(佐伯湾、猪串湾)が2件</p>	